

計画の概要

計画期間

令和3年度～7年度
5年間

投資予定額

概ね 2,150 億円 国直轄事業負担金を含む
※社会情勢等により変動することがあります。

計画の流れ

広島県の将来像
基本理念

将来にわたって、
「広島に生まれ、育ち、住み、
働いて良かった」
と心から思える広島県の実現

安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン

既存道路ネットワークの
強みを生かした道路整備の取組方針

広島県の将来像を実現するための
社会資本マネジメント方針に基づく
道路整備の取組方針の決定

既存道路ネットワークの強みを最大限
生かしつつ、更なる「安全・安心」や
「サービス（利便性・快適性・生産性）」
の向上につながる道路整備を推進します。

本県の目指す姿を実現するため、現状と
課題から、次の6つの施策を取組方針と
します。

実施施策

- 1 県土強靱化のための道路ネットワークの強化
- 2 安全で快適な道路空間の形成
- 3 物流生産性向上のための道路ネットワークの構築
- 4 地域内外の交流連携を支える道路ネットワークの構築
- 5 コンパクトで持続可能なまちづくりに資する道路整備
- 6 道路施設の適正な維持管理

選択と集中に基づく箇所選定の

事業箇所選定の視点・評価

- 将来の広島県広域道路ネットワーク
- 事業評価（3項目）

道路改良事業 街路事業

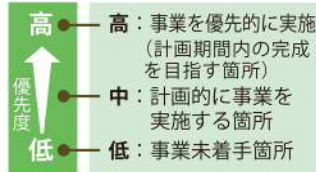
将来の広域道路ネットワークを考慮し、今後、対策が必要と考えられる事業箇所について、事業評価を実施しました。

事業評価とは

事業箇所毎に「費用対効果」、「施策貢献度」、「実施環境」の3項目による事業評価を実施し、優先度を決定しています。



評価結果による事業実施箇所の選定



施策貢献度の評価指標

施策項目	評価指標
①県土強靱化のための道路ネットワークの強化	緊急輸送道路に該当 異常気象時通行規制区間に該当 多重型道路ネットワークの形成
②安全で快適な道路空間の形成	事故危険箇所に対応する区間 通学路の歩道整備
③物流生産性向上のための道路ネットワークの構築	産業団地～高速ICへの連絡強化 重要物流道路に該当 主要渋滞箇所へ貢献
④地域内外の交流連携を支える道路ネットワークの構築	広島市への連絡強化 連携中枢都市への連絡強化 広島空港への連絡強化 新幹線駅への連絡強化 高速道路ICへの連絡強化 主要観光地～高速ICへの連絡強化 観光周遊の促進
⑤コンパクトで持続可能なまちづくりに資する道路整備	バス1車線区間 合併建設計画該当区間 生活交通路線の整備

交通安全事業

事故危険箇所の対策や通学路交通安全プログラム等に基づく整備を基本としています。

防災系事業

災害に強い道路ネットワークを構築するため、緊急輸送道路等から優先的に整備します。

補修系事業

修繕方針や施設の点検結果に基づき、緊急性の高い箇所を優先的に整備します。

用語説明

費用対効果 … 事業の実施によって、評価期間中に発現する様々な効果・影響を貨幣換算し、これを建設費、維持管理費等のコストと比較することにより事業の投資効率性を表したもの。
 事故危険箇所 … 警察庁と国土交通省が合同で、死傷事故率が高く、又は死傷事故が多発している交差点や単路部を「事故危険箇所」として指定（平成29年1月）。
 通学路交通安全プログラム … 通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組を推進するため、地域ごとに教育委員会、学校、PTA、警察、道路管理者等により策定される基本方針。
 緊急輸送道路 … 阪神・淡路大震災を教訓とし、地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として、各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』の中で設定された路線で、役割に応じ、1次から3次までが設定されている。

早期効果の発現を重視した予算配分

計画に基づく着実な整備の実施

社会情勢の変化に柔軟に対応

事業実施箇所の選定
(実施計画の作成)

523箇所/5年

5年間で380箇所の完成を目指します

事業の実施

- 着実な整備による早期効果の発現
- コスト削減を意識した事業の実施
- 地域と一体となった取組の推進

進捗状況の
点検・評価

- PDCAサイクルの実施
- ストック効果の検証

事業実施箇所一覽 (令和3年3月現在) (単位:箇所)

区分	完成 ^{※1}	継続 ^{※2}	合計	
改築系	道路・街路	49	93	142
	交通安全	32	50	82
	小計	81	143	224
防災系	橋梁耐震補強	39	-	39
	法面災害防除	260	-	260
	小計	299	-	299
合計	380	143	523	

投資予定額 (単位:億円)

区分	投資予定額	
補助公共事業費	1,040	
単独公共事業費	改良	350
	維持	410
国直轄事業負担金	350	
合計	2,150	

※1 完成: 計画期間内に完了する事業。

※2 継続: 計画期間後も継続実施する事業。

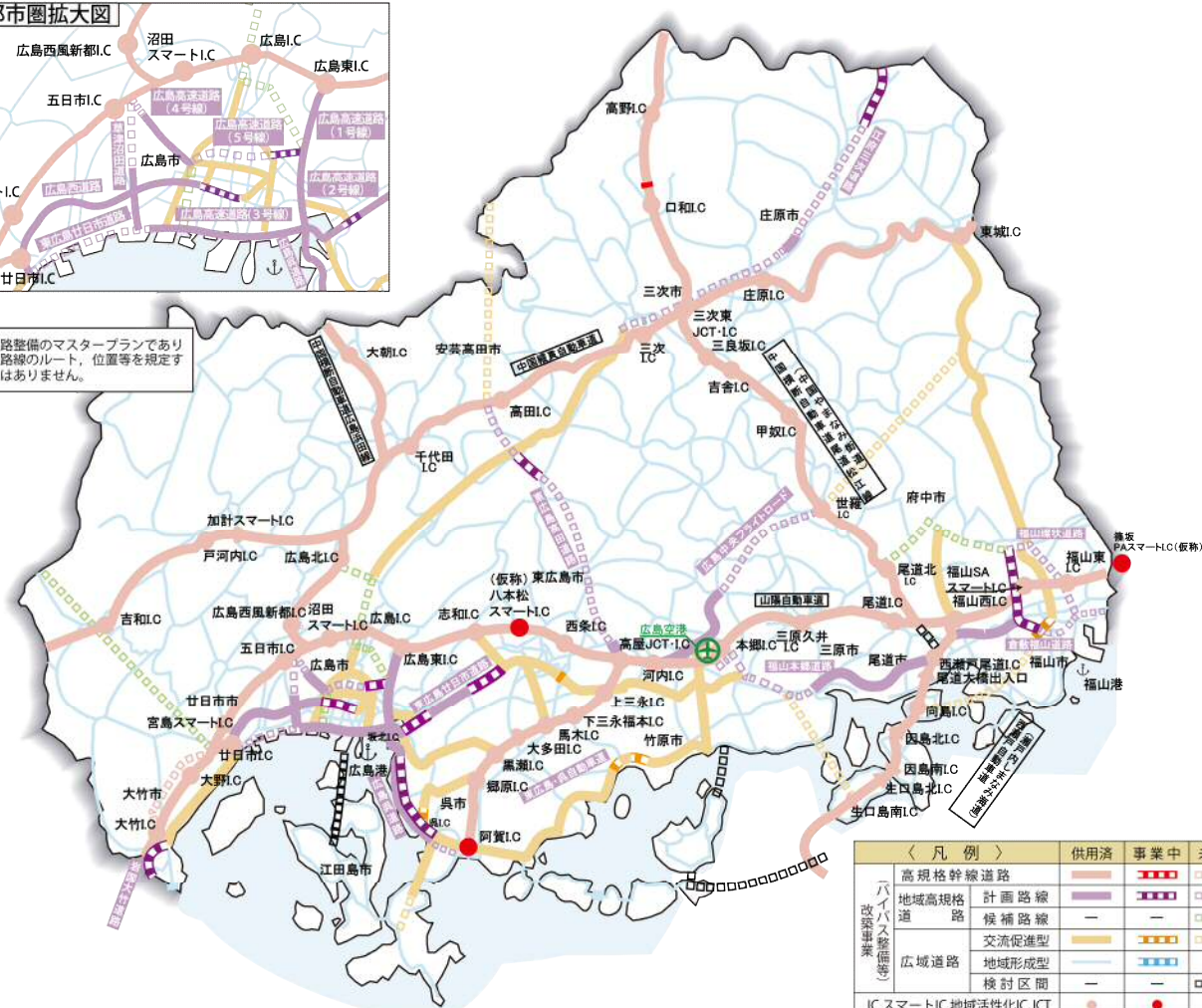
地元市町の意見を尊重

計画の策定にあたり、社会資本整備調整会議を開催し、地元市町の意見を伺いながら、事業実施箇所を選定しています。

将来の広島県広域道路ネットワーク



今後の道路整備のマスタープランであり具体的な路線のルート、位置等を規定するものではありません。



凡例		供用済	事業中	未着手
改築事業	ハイパス整備等	—	■	□
	高規格幹線道路	—	■	□
	地域高規格道路	—	■	□
	検補路線	—	■	□
広域道路	交流促進型	—	■	□
	地域形成型	—	■	□
	検村区間	—	■	□
IC, スマートIC, 地域活性化IC, JCT	●	●	—	

ストック効果 …整備された施設が機能して長期的にその地域の生産性や安全性を高めたり、環境を改善するなどの効果。
 PDCAサイクル … 計画(plan)→実行(do)→評価(check)→改善(act)という4段階の活動を繰り返すことで、継続的にプロセスを改善していく手法。
 高規格幹線道路 … 全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路。
 地域高規格道路 … 高規格幹線道路と一体となって、地域発展の核となる都市圏の育成や地域相互の交流促進、空港・港湾などの広域交流拠点との連結等に資する路線。